

第2章 2012年紅河デルタ農村金融調査報告

柳澤雅之

はじめに

本章は、科学研究費（基盤研究 B）「アジア農業金融研究のパラダイム転換に向けて一農村社会構造に着目した比較地域分析」（代表：藤田幸一・京都大学東南アジア地域研究研究所教授、2012～2015 年、研究課題番号 24380124）により実施した、紅河デルタでの金融関連調査の結果を報告する。以下の報告では、バックロック研究に関連が深いと思われる、ナムディン省での調査結果に限定し、現地調査で得られた聞き取り記録を公開する。ナムディン省での現地調査は2012年9月6日～8日にかけて実施し、ハノイ農業大学の Nguyen Huu Khanh 博士にご協力いただいた。記して謝意を表す。なお、「はじめに」を書いている柳澤も現地調査に同行し、現地で得られた聞き取り結果を参加研究者が分担して記録し、相互に確認をした。そのため、以下の現地調査の記録では著者名を記していない。現地調査の記録の公開にあたっては、研究代表者の藤田幸一教授にご快諾頂いた。ご協力いただいたことに感謝を申し上げる。

柳澤雅之

現地調査の記録

2012年9月6日（木）

Nam Dinh 省 Vu Ban 県 Thanh Loi 社

面談者：Mr.Ngoan（書記）、Mr. Vu Xuan Hoe（人民委員会主席）、Mr.Thao（副主席、農業担当）、Mr.Dung

1. 村（Xa）の概要

- ・ 村の人口は 15817 人、4047 世帯、23 集落からなり、それぞれに祖国民族戦線（National Front : Mat Tran To Quoc Viet Nam）が組織されている。3つの合作社がある。

2. 貧困世帯

- ・ 貧困者の数は、2011年10月で270世帯（全世帯の7.5%）。うち女性世帯主世帯は20%以下。貧困世帯の主な存在形態は、就業者が十分にいない世帯。2000年以前は貧困世帯の比率は16%だったが、2012年は6.1%。
- ・ 10月に貧困世帯のリスト作成。前年度実績や災害、事故の程度を考慮し、xom 単位で集計。Xa に提出し、県で確定。

3. 社会政策銀行の活動

- ・ 社会政策銀行の残高は、現在 113 億 3310 万 VND。
- ・ 3つの主な用途

- (1) 大学生 (University/College) 向け教育目的 : 残高 84 億 1,500 万 VND。404 人 (件)
 - － 一年 2 回受け取り、卒業後 1 年以内に返済。
 - － 金利 月利 0.6%
- (2) 飲料用水と環境関連目的 : 5 億 7,000 万 VND。76 人 (件)
 - － 上限 : 世帯あたり 300 万 VND
 - － 金利 : 月利 0.9%
- (3) 生産、所得向上 (Income Generation) 目的 : 23 億 5,500 万 VND、182 人 (件)
 - － 500～1,000 万 VND が主流。
 - － 主に畜産、作物栽培
 - － 金利 : 月利 0.9%

Thanh Loi 社 Coc Thanh 合作社

主任 : Mr. Quy 副主任 : Mr. Dinh 監察:Mr. Dung

1. 合作社の概要

- ・ 村には 3 つの合作社があるが、Coc Thanh 合作社はその一つであり、8 集落を統括している。
- ・ 1976～81 年には合作社が最大規模になり (全村レベル)、81 年にその合作社が分離した。
- ・ 組合員 (合作社員) は 1,105 世帯、3,607 人。不加入は 4 世帯 (不加入は社会主義時代から)。
- ・ 8 集落の長が実質的に合作社の仕事に関与している。
- ・ 合作社の幹部は 4 人。組合長、副組合長、会計、監査。合作社自体の主な収益は、supply service から得ている

2. 合作社の活動

(1) 技術普及

- ・ 技術普及に関する会費は、1 サオ (sao) 当たり半年で 8,000VND。うち 2,500VND は組合の一般管理費に繰り入れ、残りを技術普及そのものの事業に使う。集落ごとに集めて、合作社に統合する。

(2) 灌漑

- ・ 各集落から一人ずつ計 8 人と副組合長 1 人の 9 人で運営。
- ・ 灌漑についての会費は、1 サオ当たり半年毎に 17,000VND、うち 5,500VND が一般管理費に繰り入れる。また 7,500VND は賃金支払いにあてられ、実際には 9 人が作業をした際、日当として 1 人 1 日 6～7 万 (最高 10 万) VND を支払う。

(3) 防除 (pest management)

- ・ 主として社の仕事だが、合作社がそれを補佐している。ただし数年前まで合作社の仕事だった。

- ・ 会費 1 サオ当たり半年毎に 7,000VND。すべて合作社で使う経費。社には別財源がある。ネズミ害も対象。

(4) インフラ（灌漑排水など）

- ・ 水利料として 1 サオ当たり半年毎に 16,000VND を徴収。うち 7,000VND が賃金支払い（必要に応じて雇用）、残り 9,000VND が管理費。

以上、(1) ～ (4) については、利益はほぼない。

(5) 資材

- ・ 化学肥料、種子、農薬、ジャガイモの種芋の販売（マージンを取る）

(6) ジャガイモ冷蔵保管庫事業

- ・ 4 つの冷蔵保管庫がある。合計 160 トンの保管が可能。3 つを 1997 年に建設し、残り 1 つを 1999～2001 年に建設した。総建設費 7 億 5,300 万 VND で、うち自己資金 6 億 6,100 万 VND、政府補助金 9,200 万 VND。
- ・ 種芋として当初はオランダ種を導入したが、3 年前からドイツ種。

(7) 飲料水の供給

- ・ ナムディン河（Dao 河）から取水、浄化し、家庭に供給。隣りの合作社（Le Loi）と共同で実施。2003 年に Le Loi 合作社が開始、2005 年から合流した。総工費 25 億 4,400 万 VND、うち 11 億 5,300 万 VND を村からの寄付で集め、残り 8 億 200 万 VND を政府補助金、5 億 8,900 万 VND を合作社で賄った。
- ・ 1105 世帯中、996 世帯に供給。
- ・ 1m³ 当たり水道料金は、10m³ 以下は 5,500VND、それ以上 6,000VND。組合総会で決め、社の承認を受ける。
- ・ 水道事業についての収益は、月あたり 1,000～1,500 万 VND で、もうかっている。
- ・ 特に夏場の水需要が大きいため、Le Loi 合作社と Coc Thanh 合作社で別のポンプ場を設置するよう県に申請中。

(8) その他

- ・ ごみ収集は、現在行っていないが、今年度末から開始予定。年間の利益予定は 1 億 VND。

以上 (5) ～ (7) の事業利益は、2009 年度 1 億 4,600 万 VND、2010 年度 1 億 700 万 VND、2011 年度 1 億 7,500 万 VND であった。

3. その他

- ・ 組合長の月報酬は今期から 220 万 VND、それ以前は 200 万 VND。副組合長、会計、監査はその 85%。会計部門の有期雇用スタッフ 2 名は 70%。給与は、県のガイドラインに沿ったもの。
- ・ 組合の建物は 1996 年建設。ただし、集会場（meeting hall）は 1982 年と早かった。
- ・ コメの種子生産事業（県の公営会社から原々種を購入して原種を生産・販売）は、やめてから数年になる。

- ・ 組合の通常の支出項目としては、年に 1 回の合作社大会の開催経費、xom レベルのミーティング開催、幹部慰安旅行、香典、テトのお祝いなど。たとえば、組合員世帯に不幸があった場合、30 万 VND の見舞金を支給する（2011 年は 20 万 VND）。2012 年の前期 6 か月間で支給総額は 510 万 VND であった。会計はすべて合作社大会で報告する。
- ・ 農民の金融取引については、Agribank との取引がほとんど。インフォーマル金融として、親戚借りはあるが money lender からの借入はない。
- ・ 合作社として銀行から融資を受けることはない。担保となる土地を現在は持っていない。
- ・ バランスシートがあり、一部いただく。

Le Loi 合作社

面談者：組合長 Mr. Tuong、副組合長 Mr. Anh

1. 合作社の概要

- ・ 合作社は 10 集落をカバー。10 集落合計で 1,600 世帯、人口 5,180。うち 18～60 歳人口は 3,720 人。うち、かつて手織物に従事していた 400～500 世帯は非組合員。1990 年代半ばには手織物組合があり、南ベトナムへ商品を販売していたが、2000 年頃から衰退。現在は手織物業の従事世帯は 40 世帯に激減。彼らは 1993 年に、他の農業を主な職業とする世帯と同じく、村から農地の分配（1 人当たり 600m³）を受けたが、その後も協同組合の非組合員である。
- ・ 役員数：7 人（組合長、副組合長、監査、2 人の会計、出納、種子生産の専門家）。
- ・ 現在の主任は、2003～09 年副主任、2010 年から主任。副主任時代にハイブリッド種子生産（後述）を進めていた。
- ・ 役員の給料：組合長 220 万 VND/月、副組合長、監査、会計が組合長の 85%、その他 2 人は組合長の 65%。県のガイドラインに沿っている。

2. 合作社の機能

①農業

（機能）：（農民の負担（会費））

- (1) 灌漑、圃場の監視：1 万 VND/サオ/半年。うち 7,000VND が作業労賃、3,000VND が一般管理費。各集落から 1 人と組合役員 1 人（リーダー）の 11 人で仕事を分担。
- (2) インフラ維持・管理：1 万 VND/サオ/半年)、うち 10%を賃金支払い。
- (3) 技術普及：2,500VND/サオ/半年)
- (4) 防除：4,500VND/サオ/半年)、ネズミ害を含む。
- (5) その他、灌漑水路のコンクリート化のため、1 万 VND/サオ/半年を徴収。過去 2～3 年で 600m のコンクリート化が進展。以前は政府補助金があったが、なくなった。

②農業以外

- (1) 飲料水供給（2000 年～）

2.5km 先のナムディン河 (Dao 川) から、電力ポンプを用いて一日に 897 m³を取水する。2つのポンプがあり、浄水して世帯に供給。2005年にコックタイン合作社が合流し、計1,700世帯がこれより水供給を受ける。

(一日の水使用量) : (1m³あたり水道料金)

1~5m³ : 4,500VND

5~10m³ : 5,500VND

10m³以上 : 6,000VND

水道料金は、非組合員も同じ。

水道設備の設置費用

- ・ 組合員は世帯あたり 300 万 VND。非組合員は 400 万 VND。
- ・ かつて村では飲料水は井戸水から得ていた。xom ごとに 1 基、合計 10 基の井戸があり、そこから手でくみ上げて家まで運んでいた。
- ・ 手織物業による井戸水汚染が深刻化し、フランス NGO (IAFC) の投資の下で開始。投資額 14 億 VND のうち、IAFC が 5 億 VND、残りは組合員が負担。2000 年から 2005 年までは、収益の 10%を企業に還元 (?)。
- ・ 2005 年に政府の支援でもう一度投資。政府からの経常的な補助金は無い。
- ・ 1 集落で 1 つの大きな水貯めを共有する。
- ・ 合作社員とそうでない人との間で水道代は同じだが、水道設置代には違いがある。

(2) ごみ処理 (2004 年 10 月~)

- ・ 人口の稠密性から環境問題が発生し、ごみ処理に取り組むようになる。
- ・ xom ごとに 1 台のリヤカー (cart/trolley)、計 10 台で毎日収集し、5 集落 1 ヶ所の集積所でトラックに積み替え、3 kmほど離れた場所に捨てに行く。ゴミ捨て場は村 (Xa) の所有地だが、Le Loi 合作社の土地ではない。
- ・ 焼却せず、埋め立て、消臭する。(焼却施設を計画中。2013 年 4 月または 5 月にオープン予定)。社全体のゴミ処理が可能。
- ・ ごみ処理代として、1 世帯あたり 11,000VND/月を払う (政府からの補助金はない)。活動による利益はでていない。

(3) 種子生産 (1999 年~)

- ・ 99 年に、ハイブリッド種の生産がナムディン省内で盛んになったので開始した。農家が栽培した種子を合作社が買い取り、種子企業 (ナムディン省の種子会社) に売る。合作社はマージンとして、800~1,000VND/kg を受け取る。種子企業が他の村でこの村の種子を売る。他に、防除も行う。
- ・ 14 世帯の農家が社の土地 3ha の農地を借り (地代 : 半年で粳 20 kg/サオ)、種子生産。生産は個別に行っているが、合作社オフィスすぐ南隣の高みの土地区画内で栽培。組合が品質管理をする。組合は、農家が種子企業への種子販売の際、800~1,000VND/kg の手数料を取る。

- ・ 以前（2003年?）はハイブリッド種を生産していたが、現在は非ハイブリッド種を生産している。

3. 組合会計

- ・ 利益：2011年1億7,800万 VND、2012年は半期で1億 VND。
- ・ 累積利益（内部留保）は10億 VND で、それは銀行預金にするか、組合員貸付に回している。
- ・ 2000年からトラクター貸付で開始、2008年ころまで小規模（中国製トラクターで500～800万 VND）であったが、最近は大きくなっている。
- ・ 30世帯が各3,000万 VND 借りている。利子は1.1%/月。期間1～3年。
- ・ ローンの目的は、トラクター（2～3億 VND）やコンバインを買うためであり、他の目的では使用されない（トラックは OK）。組合総会で貸付目的を限定した。債務不履行が生じたことはない。
- ・ 日常業務への支出は、スピーカーの整備や香典（30万 VND/回）など。

（参考：Agribank からの借り入れ情報）

- ・ トラクターの場合、1世帯当たりの貸与額の上限は、農地を担保とする場合は5000万 VND、住居地を担保とする場合は5,000万 VND 以上。
- ・ 農家は、制度上は合作社と銀行から同時に借りることができるが、そういう例はない。

4. 農業機械の所有状況（10集落）

- ・ 12台の中型トラクターと、40台の小型トラクター
従来は水牛による耕起を行っていたが、2005年には機械に完全に代替。
- ・ コンバインは4台。コンバインでの収穫割合は、冬春稲で60%、雨季稲で70～80%。2008年からその水準に到達。

5. 農家の生計、農外活動、農業に関して

- ・ 農業は自給目的（1993年に1人当たり1サオ3トゥオック（thuoc）＝（432 m²）の農地が分配されている）。
- ・ 主な現金稼得源は、近隣工業区での工場労働（2000年～）。月給は300万 VND ほど。
- ・ 工業区建設に伴い、農業労働力が流出。60%の世帯で工場労働者がいる。世帯収入は上昇したが、農業生産過程において労働力が不足。工場に働きに出る人は、土日に農業。土日も農業に就けない者は、田植えの場合、15万 VND/サオで労働力を雇う。ちなみに1サオの田植えを終えるのに1.5人が1日働くのが標準で、したがって農業の1日当たり賃金は10万 VND。
- ・ 工場労働の進展に伴い、農地の賃借は活発化。しかし、依然として多くの農家は基本的に農地を保持し、労働力を雇っている。雇う人は、基本的に村人。
- ・ 稲の1ha 当たり収量：冬春稲6トン、雨季稲5.2～5.3トン（＝220 kg/サオ）。10年前の雨季稲の収量は180 kg/サオであった。新品種の生産性がよくなった。
- ・ 合作社主任によると、同社の他の合作社に比べると、Le Loi 合作社の人は農業生産を重

視せず、昔から Nam Dinh の町に出たり、機械工になったりする人が多い。そのため合作社としてまとまった活動がやりにくい。しかし、外での収入があるため、農家家計はよい。

2012年9月7日（金）

Nam Dinh 省 Y Yen 県 Yen Cuong 村

Mr. Nguyen Van Thuan、合作社主任、1957年生まれ、軍隊に行き1984年に村に戻った。ハノイやランソンの中越国境にいた。中越戦争（1979年）の1か月前にハノイに戻る。

1. 合作社概要

- ・ 面積：501ha
- ・ 人口：5,000人以上、世帯数：1,600（ほぼ全世帯が合作社に加入）
- ・ 16の xom（それぞれに生産隊）、thon は5つ。
- ・ 合作社幹部：合計10名（組合長、副組合長、監査、専門員2名（農業技術）、会計5名）
- ・ メインの作付は3毛作。水稻2期作（一部では雨季稲の代わりに落花生）＋冬作。農地の63%に相当。
- ・ 合作社への支払い：組合員が合作社に支払うのは、2011年度が粃14.4kg/サオ/半年（=15万8,400VND/年）。うち、5kg/サオ/半年は水路のライニングのための寄付であり、実質的には9.4kg/サオ/半年（10万3,400VND/年）。この額は2006年から変わっていない。2005年以前は、水利費が加算されていたため18kg/サオ/半年だった。支払いは金納で、換算価格は、2012年度は5,000VND/kg、2011年は5,500VND/kg。

2. 合作社の活動

- ・ 合作社の活動は、1) 化学肥料などの農業資材の販売、2) 灌漑排水オペレーション、3) 水利施設のインフラ整備、4) 技術指導、5) ジャガイモ保冷庫、6) ポンプ場の維持管理、7) Meeting hall のリース、8) 獣医サービス、9) 病虫害発生予察、10) 輸出用農産物の栽培。合作社全体の収益は、7,000～8,000万 VND/年。
- ・ 1) 化学肥料などの農業資材の販売：2009/10年の場合、合作社全体で必要な化学肥料（NPK や P 肥料）の総量は700トン、うち150トンを合作社が販売した。25kg入りの袋につき3,000VNDのマーゲンが合作社の取り分。利益は2,000～3,000万 VND/年。
- ・ 合作社のほかに、農民会が100トン、女性会が40～50トンを販売。県の農民会会長はこの村出身で、そのルートを通じて供給。
- ・ 合作社が肥料を購入するのはニンビン肥料工場。県農業普及課からの紹介。農民会と女性会は別のルートから入手。販売価格は、同種の肥料であれば同額だが、合作社と農民会・女性会で扱う肥料の種類が異なる。
- ・ 農民会と女性会による化学肥料の販売は2009/10年から開始されたが、女性会はすでに供給をやめ、農民会も規模を縮小。合作社の取扱量も2011年には70トン/半年に減少。

代わって商人から購入する農民が増加。化学肥料工場が2010年から後払いを認めなくなった（それ以前は作期前と作期後で支払額は同額だったので、合作社にとってメリットがあった）。現在は、作期前（購入時支払額）4,600VND/kg、作期後 4,800VND/kg（0.5%/月）になる。そのため、合作社の取扱量が減少し、商人から購入する量が増加した。

- ・ 化学肥料を扱うのは3人の大商人と10人以上の小商人とがある。大商人はこの村出身者ではない。小商人の取扱量は1回当たり10～20トン。大商人から商品を購入する。商人の取り扱う肥料には粗悪商品もある。小商人の肥料に多い。
- ・ 合作社内で資金が十分でない農民の割合は20%。彼らは合作社から化学肥料を購入する。合作社には後払いが可能。しかし、不良債権の累積額が2,300万VNDになっている（2002年段階では1,800万VND）。たとえば、生産隊長の一人が亡くなり、その生産隊下にいる一人の農民の債務が不明となったため不良債権になったケースがある。
- ・ 商人にはすぐに支払う必要があるが、後払いを認めるケースもあった。しかし、支払い不能の農民がいて、そのため2011年に店をたたんだ商人もいた。
- ・ なお、冬春作の場合、支払い代金から栽培経費をコストとして差引くことができるので、農民の債務不履行を防ぐことができる。

2) 灌漑排水オペレーション

3) 水利施設のインフラ整備

- ・ 合作社の主な収入源。合作社が管理するポンプが11台。各ポンプ場に1名が担当。ポンプ場の設置は1980年代からすでに開始。当時はディーゼルエンジンで、容量も300～500m³/時。その後、徐々に容量をアップし、電気ポンプに転換。最近年では、2009/10年に3台のポンプを商人から購入した。容量は、5台が大型（2,500m³/時）、4台が中型（1,400m³/時）、3台が小型（1,000m³/時）。大型5台のうち2台、中型4台のうち1台は過去2～3年の新規購入。購入価格は、大型ポンプのモーターが3,300万VNDで、関連設備を含め合計で1億VND。ポンプ購入経費は、農民からの生産のためのファンドの余剰金と化学肥料等の販売による収益から支出した。農民からの生産のためのファンドは、そもそも、粃5.5kg/サオ/半年で、対象面積は288ha（800mau、0.36ha/mau）、粃44～46トン/半年に相当する。しかし、今年の雨季には雨が十分降ったため、ポンプを稼働する必要がなく、農民からの生産のためのファンドはそのまま新しいポンプの購入代金に充てることができた。また、この年、化学肥料150トンの販売から得た利益を購入代金に充てた。
- ・ なお、水利費を徴収するのは、3毛作の土地でも冬春作と雨季作の2期分のみ。冬作にも灌漑はするが、水利費は徴収しない。また、農民からの生産のためのファンドは、雨季・冬春期とも同量を徴収。
- ・ 政府からポンプ稼働のための電気代の補助を受ける。2011年は1,800万VNDの補助（補助率90%）。ポンプ稼働に必要な総額は2,000万VND。2010年には総額の60%を国が

補助。電気代の補助は 2009/10 年から開始。

4) 技術指導

5) ジャガイモ保冷库：2 倉庫、種芋を保管。設立当初は需要が大きかったが、近年では他の合作社や村でも同様の事業が増え、需要が減少。

6) Meeting hall のリース：縫製会社に合作社オフィス横の会場をリース。

7) 獣医サービス：4 名のスタッフが担当。ブタ、ウシ、スイギュウ、ニワトリなどの家畜に予防注射等を行う。

8) 病虫害発生予察：5 名のスタッフが担当。

9) 輸出用農産物（冬作）の栽培

- ・ 会社と契約し、加工用キュウリとトウモロコシ（ベビーコーン、スイートコーン）の栽培を行っている。トウモロコシは 14 集落 (xom)、合計 3.6ha (10 mau、3,600 m²/mau) で栽培。契約している会社は Hai Duong 省輸出入会社 (cong ty xuất nhập khẩu Hai Duong)。かつて、ハノイやハイフオンの会社と契約したこともあるが、ここ数年はこの会社。
- ・ 2011 年の販売実績は、スイートコーンが、300 トンの契約で 270 (?) トンを出荷、ベビーコーンは 10 トンを出荷。キュウリは 100 トンの契約で 70 トン、カボチャ (bi do) が 60 トンの出荷。2003 年から現在と同程度の規模で栽培。輸出用のものは冬春作で栽培。スイートコーンは 10 月の播種後 75 日、ベビーコーンは 40 日で収穫。9 月に入り、xom 長が栽培希望者のリストを作成し合作社に提出する。種子は会社から入手し、化学肥料・農薬は合作社が調達して農民に渡す。種子・化学肥料・農薬等の経費を差し引いた額で合作社は農民から買い取り、会社に販売。種子の代金は、会社に後払い。
- ・ 会社と契約を始めた最初の 2 年間は会社から技術スタッフがきて栽培指導のコースを開講した。それ以降は、来ていない。
- ・ キュウリ栽培を開始した当初は、こちらから会社を探す必要があった。現在では、会社のほうから打診される。これまで 4~5 の会社からオファーがあった。現在契約している会社は販売が遅い? ので、来年度は別の会社と契約する予定。販売量も少ない。
- ・ キュウリの場合、農民からの買い上げ価格が 3,200VND/kg、会社への販売価格が 3,400VND/kg、200VND/kg が合作社の収入。かつて栽培していた小さいキュウリは 2006 年に栽培を終了し、大きいキュウリに切り替えた。

3. 縫製工場

- ・ 2007 年から縫製会社に合作社オフィス横の建物をリース。Y Yen 県の別の社に属するオーナーが所有し、5~6 つのワークショップを展開している。ここのワークショップはその中では規模が小さい方（本社ワークショップから 10 km の距離）。合作社は会社に対し、120 万 VND/月でリース。労働者数は 70 名で、100 名以上の時もあった。別の合作社からも工員が来ている。労働時間は 6:30~11:00 と 13:00~17:00。労働者の賃金は 180~300 万 VND/月。製品は輸出用。

4. 合作社収支簿（2011年、VND）

	収入	支出	利益
水利施設維持管理	253,790,500	203,739,162	50,051,338
水利操作	114,669,500	108,697,900	5,971,600
農業普及	98,827,000	41,528,500	57,298,500
病虫害発生予察	18,348,000	17,140,000	1,208,000
獣医	8,800,000	4,875,000	3,925,000
ジャガイモ保冷库*			0
合計			118,454,438

*ジャガイモ保冷库からの収入は、2012年度には5,181万4,000VNDの利益あり。なお、この年の総利益額は1億3,083万8,500VND。

5. 合作社利益の使途（2011年、VND）

	金額 VND	割合%
共益積立基金	33,155,938	28
生産基金	28,000,000	24
農業普及	57,298,500	48
合計	118,454,438	100

6. 水道事業

- ・ 2011年から開始。隣接する3つの村と共同でインフラ整備を行う。この村からの供出は、1世帯当たり110万VND。

7. 電気事業

- ・ この村で電気が最初についたのは1984年。回答者が村に戻ってからすぐの事業。県内でもっとも早く整備された村。

Nam Dinh 省 Y Yen 県 Yen Bang 村 Cau Co 合作社

回答者：Mr. Pham Van Tien、合作社主任、社レベルの農民会副会長。息子がハノイ農業大学の学生で、近々、日本の大学に留学予定。

途中から Mr. Le Thanh Binh（村人民委員会委員長）合流。

社には3つの合作社がある。Cau Co 合作社、Quyet Tien 合作社、Ngo Xa 合作社。

1. Cau Co 合作社の概要

- ・ 総面積：320ha
- ・ 農地面積：210ha
- ・ 人口：3,200人

- ・ 世帯数：1,107、一世帯から1名が合作社に加盟（村全体の世帯数は2,650）
 - ・ 非合作社世帯数：89（商売人や移住世帯。特に2000年ごろから移住者あり。県内からの移住で、村では知り合いを頼ってやってくる）
 - ・ 生産隊（doi）：5、自然村（thon）：17
 - ・ スタッフ数：4（組合長、副組合長、会計、監査）
 - ・ 農業：農地の90%がコメ2期作、10%が3毛作。
2. 合作社の活動：
- 1) 水利施設整備
 - 2) 病虫害発生予察
 - 3) 農業普及
 - 4) 水利操作（合作社によるポンプ操作）
- ・ 県の水利公社による水利サービスの受益地でない農地が合作社内に30haあり、そのための水利操作（ディーゼル・ポンプ）の費用。2011年の水利操作の総経費が2,000万VNDであったが国からの補助はその半分。
- 5) 化学肥料と水稻種子の販売
- ・ 2008年から昨年まで合作社は3.5～4トンの化学肥料を購入していた。それ以前は合作社で化学肥料を購入していない。2011年の化学肥料購入量は2.5トン。尿素やリン酸肥料などを、大規模商人から購入した。後払いが可能であるため。2008～10年は、化学肥料工場から購入。作期前に入手し、2か月以内に支払っていた。4か月経過すると利子を支払う必要があった。そのため、購入契約時に総額の20%、2ヶ月後に残りを支払うというような契約をしていた。2008年に合作社が化学肥料の購入を開始したのは、後払いを希望する農民のため、および商人の取り扱い肥料に粗悪商品が混ざっている事態への対策のため。
 - ・ 合作社の210haに必要な化学肥料は総計100トン。したがってほとんどの農民は独自に商人から購入している。町にも近く、商人へのアクセスも容易。農民と商人の契約では、すぐに支払うケースと、利子を含めて後払いのケースの両方がある。化学肥料の価格は、工場、大規模代理店、小規模代理店でほぼ変わらない。
- ・ 農民から合作社への支払額：75,000VND/サオ/年（2012年）。2011年は66,000VND、2010年は63,124VND。このうち、1) 水利施設整備と4) 水利操作の経費が2/3を占める。
 - ・ 合作社の収支（2011年）：総収入2億VNDで、利益は100～200（？）万VND。合作社の活動による利益が少なく、合作社内の道路などのインフラ整備が遅れている。
3. 金融
- ・ 農業銀行の村全体への現在の貸出残高370億VND。480世帯が借入、平均7700万VND/世帯。2007年には、総額95億VND、400世帯。融資期間は1～2年。融資目的は、1年の短期の貸付の場合は、家畜飼育、作物栽培などで、平均すると3,000万VND/世帯

の融資。それ以上の額の融資では、家の建築や商売への投資、道路に面した土地の購入、トラックの購入など、非農業の活動に充てられる。2007年に比べて融資総額が増大しているのはビジネスチャンスが拡大したから。返済率はほぼ100%。農業銀行は村(Xa)に定期的に報告する。

- ・ 社会政策銀行からの資金は貧困世帯、学生、飲用水のための資金として利用。総額80億 VND。うち、11億 VND(78世帯、1,410万 VND/世帯)は農民会を通じて、69億 VND(300世帯、2,300万 VND/世帯)は女性会を通じて融資。奨学金など、教育費への融資は、かつてが800万 VND/世帯、現在は1,000万 VND/世帯であり、融資を受ける世帯は多い。女性会を通じて融資を受ける。家の建設は、貧困世帯の家の修築に対して融資する。4~5世帯が、平均700~800万 VND/世帯の融資を受ける。
- ・ 3年前に社会政策銀行で受けた融資300万 VNDを返済不能のケースがあった。両親が死亡し、子どもが支払えなくなった。村が半額の150万 VNDを肩代わりした。

4. 圃場整備

- ・ 2003年に村のイニシアティブで農地の交換分合(圃場整備は行っていない)。17自然村(thon)のうち、14自然村では、7~10筆/世帯から5~6筆/世帯になった。しかし、3自然村(Nhi自然村、Dinh tam自然村、Ninh Mat自然村、村オフィスから1km)については、11筆/世帯のまま。土地の微妙な高低があり、交換分合が進まなかった。2003年に交換分合したのは、第一には政府の方針。第2には、生産コストを下げるインセンティブがあった。あぜを整理し土地が均平化することで、耕起が容易になり、化学肥料を集中して投入できるようになった。また水稻品種も高収量品種にかわった。
- ・ 2013年に再度、圃場整備+交換分合の予定。すべての村で1~2筆/世帯の予定。農地の整備のために、20m²/世帯の土地を供出させる。3自然村についても水田の条件は変わらないが交換分合させる。

5. コメの生産性

- ・ 収量は、1993年は200kg/サオ/年。当時は、自家栽培だけでは15%の世帯で年間3~4か月の飯米不足。不足時は社内でコメを借りることが一般的で、100kgの籾を借り、収穫ののちに150(?)~180kgを返却(青田売りではない)。親戚と非親戚の双方から借りるケースがあった。当時は、村も合作社もクレジット制度は持っていなかった。
- ・ 2003年のコメ収量は210kg/サオ/半年(420kg/サオ/年)。貧困世帯はまだ存在するが、コメ不足はなくなった。

6. Yen Bang 村オフィスに掲げてあった農村金融の看板

「社会政策銀行から優待信用政策についてのお知らせ

社会政策銀行は17の信用プログラムで融資を実施しており、うち13プログラムは国内資本、4のプログラムは外国資本による融資によるものです。Nam Dinh 省においてはこのうち以下の7つのプログラムを実施しています。

1. 貧困世帯への融資

政府規定第 78/2002/ND-CP (2002 年 10 月 4 日) により、最大融資額 3,000 万 VND/世帯、融資期間最長 60 か月 (5 年)。

2. 苦学生への融資

政府首相規定第 157/2007/QD-TTg (2007 年 9 月 27 日) により、最大融資額 86 万 VND/月。

3. 水道および農村環境衛生のための融資

政府首相規定第 62/2004/QD-TTg (2004 年 4 月 16 日) により、各種工程への最大融資額 400 万 VND。

4. 外国出稼ぎ労働のための融資

国家銀行総裁規定第 365/2005/QD-NHNN (2004 年 4 月 13 日) により、最大融資額 3,000 万 VND/人、融資期間は契約による外国労働に従事する期間を超えないこと。

5. 生計確保のための融資

政府首相規定第 71/2005/QD-TTg (2005 年 4 月 5 日) および政府首相規定第 15/2008/QD-TTg (2008 年 1 月 23 日)、通達第 14/2008/TTLT-BLDTBXH-BTC-BKHDT (2008 年 7 月 29 日) により、最大融資額は、世帯当たり 2,000 万 VND、商業生産ユニットあたり 5 億 VND、最長融資期間は 60 か月 (5 年)。

6. 商売および家建設のための融資 (KFW プロジェクト)

ドイツ政府の融資プロジェクト「中小規模起業発展プログラム」(2005 年 8 月 26 日、財政省および社会政策銀行との契約) により、最大融資額は 1 起業あたり 5 億 VND、最長融資期間は 60 か月 (5 年)。

7. 貧困世帯の家屋建設のための融資

政府首相規定第 167/2008/QD-TTg (2008 年 12 月 12 日) により、最大融資額は 800 万 VND/世帯、最長融資期間は 10 年。

8. 政府から通達しだいでその他融資あり。」

2012 年 9 月 8 日 (土)

Nam Dinh 省 Hai Hau 県 Hai Toan 村

回答者: Mr. Tran Duy Nghiep (党書記)、Mr. Tran Khac Luong (人民委員会委員長)、Mr. Nguyen Xuan Hiet (副委員長)、Mr. Nguyen Quang Dai (農民会会長、副書記)、Mr. Tran Van Hong (Hai Hau 県農業室、副室長)、Mr. Tran Van Toa (第 7 合作社組合長) ほか

1. 社の概要

- ・ 大きな村が 1957 年に 2 つに分割して Hai Toan 村が生まれる。
- ・ 面積 526ha、世帯数 1439、人口約 5000 人。稲作地面積約 300ha。
- ・ 12 の集落 (xom) から成り、2 つの合作社がある。xom はすべて文化村 (xom van hoa) の基準を満たす。学校 3 校あり。
- ・ インフラ (道路など) が良好で、現在も「新農村開発計画」を通じてさらに整備中。

2015年に終了。

- ・ 1人当たり所得（2011年）1510万 VND。貧困世帯率7%。就業人口は農業65%、サービスなど非農業35%。GDPの50%を農業が占める。
- ・ 香り米生産が盛んであったが、現在では稲作の3%まで減少した（後述）。（注：昼食時に党書記から聞いた話では、村では昔からボンサイ栽培が盛ん。ほぼすべての世帯が多かれ少なかれかかわっているが、本格的にやっている世帯は15%）

2. 金融

・ 社会政策銀行

貸付残高：400世帯に対し65億 VND（1世帯当たり平均1,625万 VND）。

融資目的別には、

教育：学生200人、残高34億 VND（1人当たり1,700万 VND）。毎年700～800万 VNDを貸す。

生計向上：300世帯、残高20億 VND（1世帯当たり670万 VND）。農業が中心で、1件当たり最高額2億 VNDまで。3,000万 VNDまでは無担保、3,000万 VND以上になると土地証書など担保必要。1世帯が同時に教育ローンと生計向上ローンの融資を受けることも可能。

その他：飲料水、海外出稼ぎの研修など。

担当組織

女性会は10%で、主に飲料水。農民会が約90%で、教育融資を含む。海外出稼ぎ融資は退役軍人会。

海外出稼ぎのための融資：

融資は主に研修のために使い、実際の渡航費用などは自己資金で賄う。国営（省）の仲介会社が斡旋する。現在、1世帯に対する融資（2,100万 VND）が焦げ付いている。渡航先で契約違反行為をして早期帰国したため。

主な渡航先は、マレーシア、台湾、中東。10年前くらいから出稼ぎが始まる。

マレーシア：2年+1年延長可。縫製工場がメインだが、建設業やサービス業など。現在40～50人。

台湾：2年+1年延長可。建設労働、機械工、メイドなど。現在40～50人。

（参考：その他、村からの海外出稼ぎ先として韓国、ドイツなどがある。両者ともやはり2000年頃から開始。韓国は3年+2年延長。国営仲介会社の担当外。主に男性で現在40～50人が行っている。高所得層で、20～30歳代が中心。

ドイツは1980～90年代に移住した人が呼び寄せるケース。現在30人。日本に行っている人も10人ほどいるが、韓国よりも稼ぎが悪い）

・ 農業銀行（Agribank）

貸付残高：300世帯に対し74億 VND（1世帯当たり2,500万 VND）。焦げ付きなし。

生計向上プロジェクト目的が主で、ほとんどが1年間。中・上位所得層が中心。

毎月、農業銀行から村(Xa)に報告がある。融資にはXaの承認が必要。

10年前から年率30%増が銀行の目標だが、実際には10%増にとどまる。

融資を受けた者は銀行口座を持っておらず、したがって貯金もない。

- ・ なお、社会政策銀行の融資総額はあらかじめ(行政的に)決まっており、それを調整して希望者に配分するが、農業銀行は需要に応じて貸す。

3. 村(Xa) [ママ] の財政

- ・ 年間40億VNDで、うち自主財源15億VND、政府補助金25億VND。
- ・ 全体の30%が人件費を含む経常予算で、残り70%がインフラ整備など開発予算。
- ・ 政府補助金は、省から県を通じて下りてくる。
- ・ 2000年の財政規模は4億VNDで、ほとんどが経常費に消え、開発予算はなかった。
- ・ 1997年までは政府補助金がゼロで、すべての財源を自主財源に依存していた。
- ・ 現在の自主財源：

40%が村共有地からの収入。村共有地は40ha(2011年の耕地整理以前は30haで小面積に分散していた)。

貸付対象者は入札で決定。2011年約100世帯(耕地整理以前は約200世帯)。40haのうち20haは稲作、10haは換金作物で、最大面積2ha/人。ボンサイ、養魚などもある。入札価格は稲作地が70-80万VND/サオ、換金作物が100~120万VND/サオ(年間)。稲作地は、かつては200世帯が借りていたが、現在では100世帯。

残り60%は、諸手数料、インフラ整備事業(農道など小規模インフラ)への村人からの拠出金など。農道整備計画のため、2011年は、10万VND/世帯を徴収。これまで9.4kmの農道の舗装化が終わった(2011年)。その他、水路改修や学校建設のための経費が県から降りてくる。村(xa)の建物の建設は新農村プログラムから補助がある。

4. 稲作について

- ・ 1987年以前は自家用に農家レベルで少量が栽培されていた。当時からすでに有名。
- ・ 1988年、農家による自由な作物選択が可能になる。以後、香り米生産増加。
- ・ 1991年時点で稲作の90%が香り米。“Tam Xoan”と呼ばれる品種。
- ・ 香り米は雨季稲で6月第1週に田植え、9月半ば収穫。年一作。
- ・ しかし以後減少を続け、2011年は5%、2012年は3%まで激減した。現在の主な品種は“Bac Thom”と呼ばれる非香り米品種。作期は7月5日田植え、10月5日収穫。
- ・ 香り米減少の理由：
 - 1) 栽培期間長い
 - 2) 用水確保が問題(作期の終盤に用水確保が困難)
 - 3) 有機肥料を入れなければならない
 - 4) 開花期に気温が高すぎて問題

1991年から冬作にトウモロコシが導入され、香り米が減少し始める。1995年からヘチマとキュウリが導入され、2005年から急速に拡大し、香り米がさらに減少。冬作は現在、農地の22%で行われている。

- ・ 香り米：収量 100～110 kg/サオで、1作のみ可能。価格 25,000VND/kg。他のコメに比して年間の変動が少ない。
- ・ 普通米 (Bac Thom)：年2作可。収量は冬春稲 200 kg/サオ、雨季稲で 150～160 kg/サオ。価格 12,000～13,000VND/kg。
- ・ 香り米協会（県レベルの組織、hiep hoi san xuat che bien thuong mai）が香り米の生産・販売を促進。

2007年設立。会員数は2007年に437世帯（うち Hai Toan 村から30世帯）。現在は200～300世帯に減少（Hai Toan 村から10世帯）。おもに Hai Toan 社、Hai Phong 社、Hai Duong 社が主なメンバー。

VASI（農業科学技術院）が2002/03年以降、技術指導。協会はそれを普及。

協会による香り米販売のためのマーケティング活動は2008-10年。マーケットフェアや、テト前にハノイのスーパーでデモを行う。独自のトレードマークをもつが、最近は多くのまがい物が市場に出回っている。

5. 合作社について

- ・ 社に二つの合作社がある。

Lien Tien 合作社：460世帯（2世帯が非メンバー）

Toan Thang 合作社：470世帯（1世帯が非メンバー）

- ・ 合作社の機能：農業技術普及、防除、灌漑、農業資材供給など
- ・ 組合員の負担：25,000VND/サオ/年（2011年）（2つの協同組合共通）

うち5,000VNDは技術普及料、残り20,000VNDは水利費。合作社が集めるのは直接、農業生産に関係するもの。この負担額は現在の合作社役員が選ばれた2009年から変わっていない。それ以前の役員時代は22,000VND/サオ/年。

- ・ 組合の利益（2011年）：500～700万 VND で、大半は農業資材（化学肥料、農薬など）の販売事業からの利益。

6. 食料問題の歴史

- ・ 1990年代には飯米不足農家（3～5月の年間2か月）が20～30%いた。10kgのコメを借りて2か月後に12kgを返すというようなインフォーマル貸付が行われていた。（注：収穫期前の米価は高く、したがって実質的には無利子融資になっていた）
- ・ 2000年代には問題はすでに解消。水利施設の改善と水稻品種の改善とにより、コメ生産量が増加したことと、出稼ぎによる現金収入の増加が理由。

7. 農外就業について

- ・ 工場は近くにはない。
- ・ 建設労働などの季節出稼ぎが多い。世帯の30%。男女とも。500～600万 VND/月を稼

- ぐ。年間7か月就業。農繁期には帰農。
- ・ 海外出稼ぎ者は、帰国後、換金作物栽培などに投資。家建設は少ない（村で目立つといけないから）。
 - ・ その他、2000年ごろから一帯ではイグサ（coi）の Handicraft が盛ん。台湾、中国、日本などへ輸出。
8. 耕地整理について
- ・ 1993年：土地分配。600 m²/人
 - 1回目：2004年。1世帯当たり筆数2.9
 - 2回目：2011年。1世帯当たり筆数2.1以下へ減少。1世帯当たり8～10サオを保有（2.5～3サオ/人）。
 - ・ 人口
 - この20年間、人口の大きな変動がない。人口コントロールがうまくいく。たとえば、2001年に3人目の子供を持つ世帯はいなかった。現在の人口増加率0.5%。昨年、新生児73人、死亡数30名。大学業後村を離れる学生の人数があり、バランスされる。
 - ・ 飲用水
 - 3つの社と共同で、浄水施設の建設中。国が90%、社が10%を負担。

以上